

がんは、早期発見により

「90%以上」が治ります!!

市では、「肺がん・胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん」の5大がん検診や、「前立腺がん・肝炎ウイルス・骨粗しょう症等」の検診を実施しています。

すべての検診が市からの助成を受けられるため、低価格で受診することができます。命を守るための大切な検診です。定期的に受診するようにしましょう。

【ポイント】

今日、日本人の2人に1人が、がんにかかり、3人に1人が、がんで死亡しています。また、罹患者の3分の1は現役の労働者です。

がんは、それほど身近な病気であるにもかかわらず、自分のこととして捉えにくく、また、罹患したら治らない怖い病気というイメージを持つ方が多いようです。

しかし、医療のめざましい進歩により治療率は向上しており、従来の検査では発見できなかった小さながんも早期に発見できるようになりまし

た。また、「早期発見」と「早期の治療開始」によって、がんの大半が治療できるまでになっており、早期がんである「ステージⅠ」の5年後の生存率は、多くのがんで9割を超えています。

このように、がんは早期に見つけられれば、決して怖い病気ではありません。

「検診はめんどう」「がんは自分には関係ない」と思う方も多いと思いますが、40歳以上の方にとって、がんは非常に身近な病気です。多くのがんの要因はいまだに分かっておらず、がんを完全に予防す

ることは不可能です。しかし、がんを早期に発見し治療に結びつけることは誰にでもできることです。がんから命を守るためには、定期的な受診が一番の近道ということになります。

【がん検診について】

検診を受診したことがない方でも、「5大がん」という言葉は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。この5つのがんは、死亡者数の非常に多いがんであると同時に、検診を受けることで早期に見でき、さらに治療を行うこ

とで死亡率が低下することが科学的に証明されています。市では、5大がん検診等を実施していますので、対象の方は積極的に受診するよう心がけてください。また、検診の結果、「精密検査が必要」と判定された場合、自分のため、そして心配してくれる周りの人のためにも、精密検査を受けるようにしてください。

【検診のメリット】

がん検診の最大のメリットは、早期発見・早期治療による救命の効果です。症状があつて外来を受診した場合、がんの多くは進行してしまつていきます。一方、がん検診は症状のない健康な人を対象に行っていることから、早期がんが多く発見されます。早期がんはそれほど治り、しかも軽い治療で済みます。一方、進行がんは、臓器によって程度が違いますが、治すことができない場合も多くなります。

【検診のデメリット】

どのように優れた検査で

も、100%の精度ではありません。これは、がんそのものが見つけにくい形であったり、見つけにくい場所に出たりする場合があります。

【検診までの流れ】

1. 電話・メール等で申し込み
2. 市から問診票等を郵送
3. 問診票等に必要事項を記入し、検診日当日に持参
4. 検診会場で受診
5. 検査結果を郵送（約6週間後）

※前年受診者（子宮頸がんは前々年）は、自動的に問診票を発送するため申込不要。